

香で飾る琉球かすり機織りのまち

企画目的

南風原は戦前から、絣の生産地として発展してきた町です。昭和58年に「琉球絣」が伝統工芸品として指定を受け、その後伝統文化を守る空間として、「かすりの道」が建設されましたが、現在は訪れる人も少なく、活用が進んでいません。
地域の方々が植栽・維持管理することにより、地域コミュニティの向上を図りたい。また、多くの人にかすりの道を知ってもらうため、「香りづくり」「緑化による景観作り」「まちの活性化」「人づくり」を展開し、香りで飾る地域づくりを形成しようとするものです。

テーマ

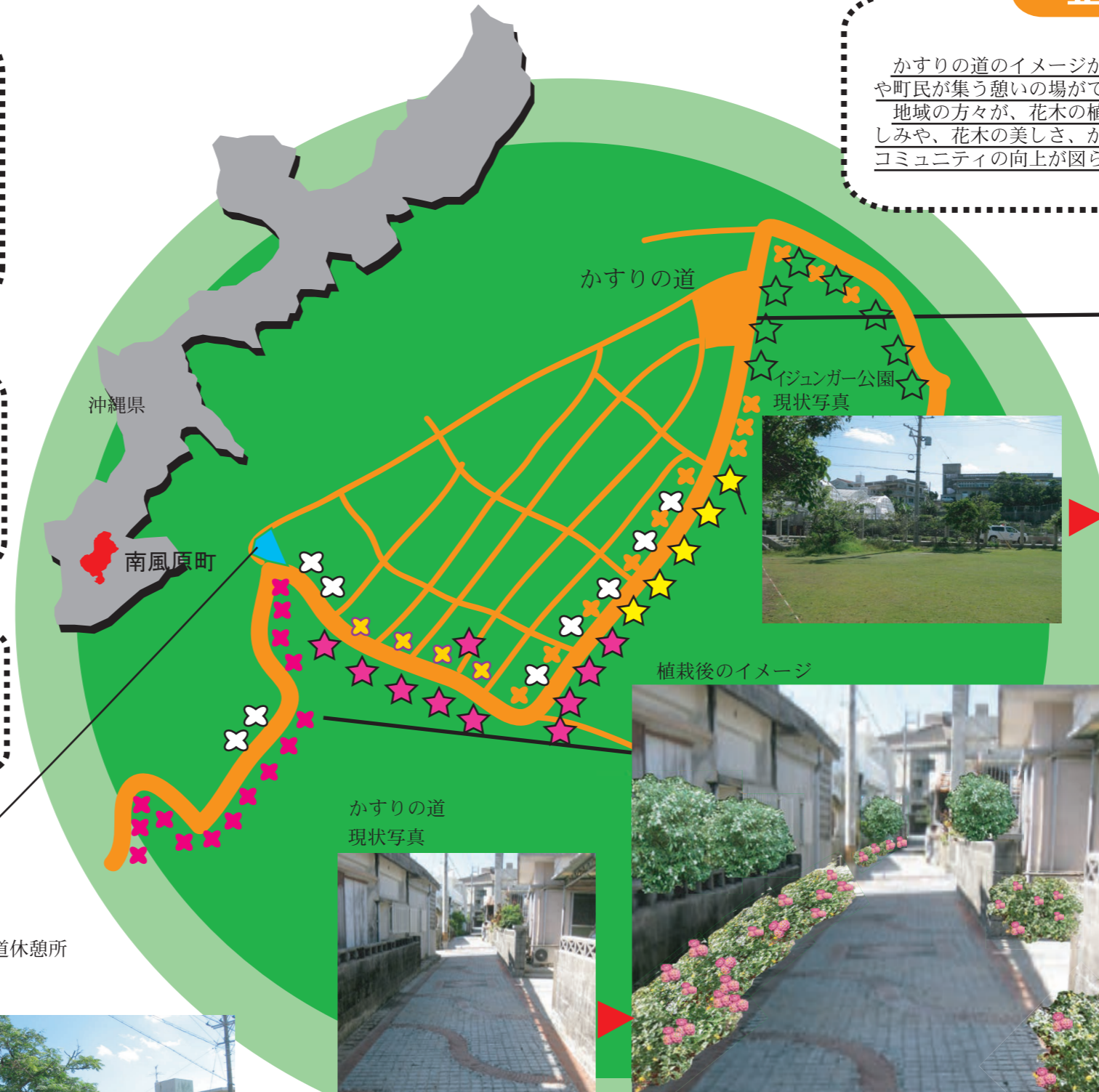
かすりの道に隣接する「イジュンガー公園」にシンボリックな樹木を植え、かすりの道の花壇には花木を機能的に配置することで、絣を織っている「シャラトントン」という音を聞きながら、ゆっくりと散歩する時間を過ごせる空間を創造します。
豊かな香りと四季折々の花々「シャラトントン」という伝統の音が来訪者を日常生活から解放してくれる空間になります。

コンセプト

- ・「香木」による癒しの効果と「伝統の音」を複合し、かすりの道の魅力の効果を高めます。
- ・香りの草木を植え、集落の人々の環境に対する関心を育て、潤いのある集落づくりを創造します。

企画の効果

かすりの道のイメージが変わり、話題性が生まれ、多くの来訪者や町民が集う憩いの場ができ町民と来訪者の絆がうまれます。
地域の方々が、花木の植栽や維持管理をとおし、花を咲かせる楽しみや、花木の美しさ、かすりの里として誇りをもち、生き甲斐やコミュニティの向上が図られます。



植栽後のイメージ



植栽後のイメージ



かすりの道
現状写真



かすりの道休憩所
現状写真



植栽後のイメージ



みどり香るリスト 使用する樹木・草花

ニオイバナムツリ	200 本
ヤマモモ	2 本
アカギ	2 本
サキシマハマボウ	2 本
ホルト	2 本
センダン	2 本
フクギ	2 本
イスノキ	2 本
クチナシ	4 本
モモタマナ・ゴパディシ	2 本
モッコク	2 本
カンヒザクラ	2 本
オキナワシャリンバイ	2 本
ランタナ(色違い各100)	400 株
タマスダレ(色違い各300)	900 株

伝統文化に生まれた美しい織物を生産する「かすりの里」にふさわしい環境をめざして、住民や来訪者が”であい”とともに”憩える”「かすりの道」を形成していきます。

日本植木協会賞

みどりの香り&みどりの風が吹く小菅沼・ヤギの杜

【この企画のねらい】

鳥獣害対策や中山間地の活性化を図るためヤギを導入してその、利活用を試みている地域です。

小菅沼・ヤギの杜グループは、里山再生に向けて環境保護や生産緑地維持管理を実施しています。

”みどりの風が吹く小菅沼・ヤギの杜”は

《豊かな自然との共存を目指して》います。この中に”みどりの香り”が加わるにより、より一層この地域の活性化が、やさしく人々に伝わり里山の大切さと保護を望むものです。

春を告げる沈丁花、初夏にさわやかなラベンダー、秋の収穫に金木屋小菅沼の大地で香りのリレーが出来たらと考えます。

【この企画の効果】

セラピー効果があるヤギとのふれあいに、樹木の香りがプラスされ相乗効果が期待できます。

市街地から訪問する人々との交流が益々図られます。

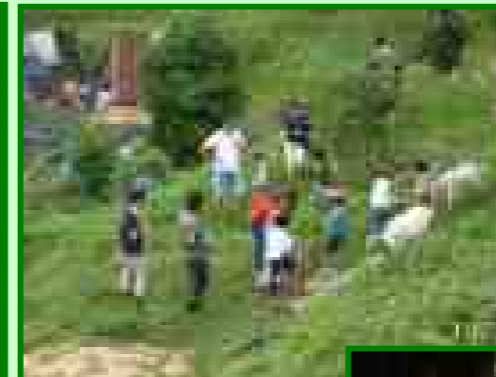
金木屋は、香りが放つ頃農作業の区切りの目安となります。

小菅沼・ヤギの杜で樹木の香りから

日本の美しい四季と原風景を五感の趣きと、とらえます。



小菅沼・ヤギの杜のメンバー

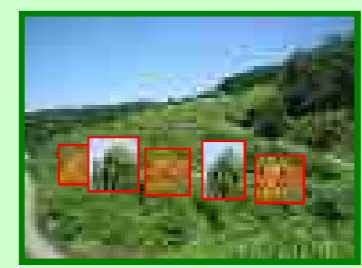
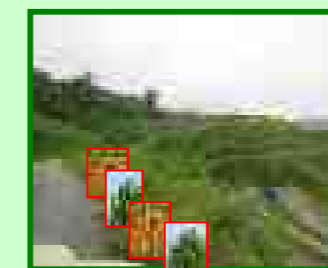
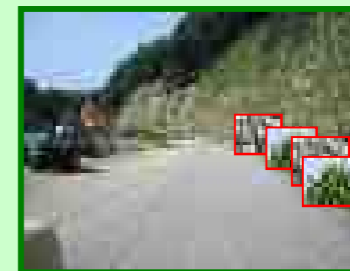


チェーンアートでシンボル制作

ヤギとの触れ合い

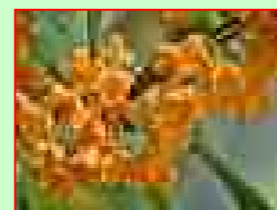
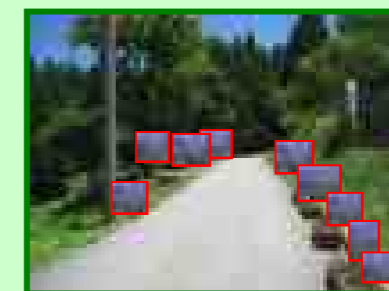


A点
ニオイヒバ
沈丁花

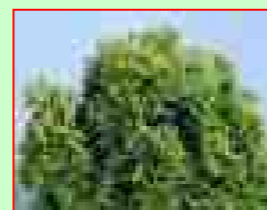


B点 金木屋+ニオイヒバ

C点
ラベンダー



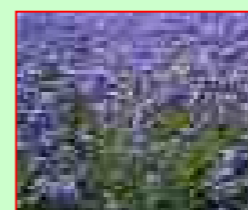
金木屋20本



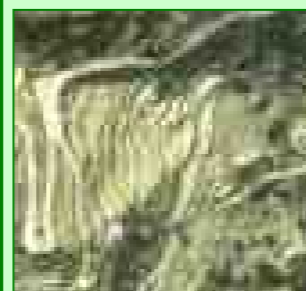
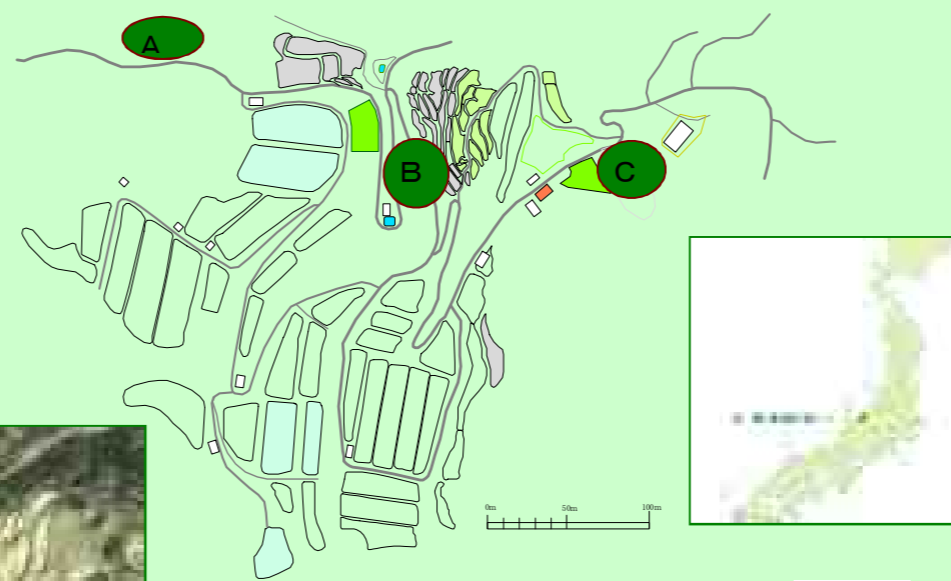
ニオイヒバ30本



沈丁花10本



ラベンダー100本



植栽計画予定地



提案者： 小菅沼・ヤギの杜（富山県魚津市）

